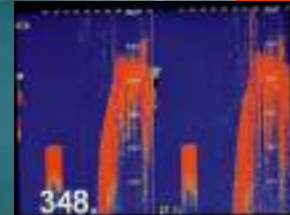


菜の花満開の南伊豆でキンメ狙い



●キンメは南伊豆の看板ターゲット



▲釣り場は新島沖の水深350～400メートル。朝イチは根のてっぺんにすこぶるいい反応が



●何枚のキンメが付いているか？仕掛けをたぐる瞬間も楽しい



▲水深の倍近く道糸を送ることも珍しくないのミヤマエ・コマンド9クラスの大型電動が必要



▲反応が濃い朝イチは多数の船が集結



▲南伊豆まで足を延ばすなら釣りの後の観光もおすすめ



●穏やかな日が多くなるこれからの季節は入門に最適



▲期待のメガサイズは出なかったが1キロ前後がそろった



●サイズは大中小交じり



●イルカがいなければ釣果はのびる



▶良型ばかりを多点掛けすること

フルレンタルで初心者でもチャレンジ可能

本格深場と言われる南伊豆のキンメ釣りは道具や仕掛けの準備が大変でチャレンジに二の足を踏む人もいるだろう。しかし現在では各船宿でレンタルタックルを完備しており、竿やリールはもちろん仕掛けや付けエサも準備しているため、必要なものを借りられる。初めてならずすべてがセットになったフルレンタルがおすすめです。これならクーラーひとつで釣行できる。



▲愛丸のレンタルタックル。竿は愛丸特製。一日分の仕掛けとオモリ込みのフルレンタルもあり

菜の花が咲き乱れ、一足早く春満開となっている南伊豆。釣りでの名物といえはなんと言ってもキンメ。ここ南伊豆手石港出船では目下は新島沖の水深350～400メートル前後を狙っているが、このところ海域にイルカが出没しており釣果はムラがある様子。
取材日もイルカの横取りが多く数はのび悩んだが、通常であれば1キロオーバーの良型交じりでクーラー一杯になることも。春の濁り潮が差し込む4月はキンメ狙いの好期。今後の好転に期待したい。
(詳細は54ページ参照)



●南伊豆手石港・愛丸 佐野 譲船長